

# 「今年目標」

記入者：ラプタハイブン



以前大切に飾っていたヘドラは、次男に塗装が剥げるほどおもちゃとして酷使され、思い入れの深いバトラ成虫も足を二本失った。残る初代アンギラスだけは、家宝として子供の目に付かないところにそっと隠してある。

寛治はたまに出会ったころの話をするときがある。当時は京都から三重へ帰ってきたばかりで仲間も少なく、仕事に就いたばかりで、やることがなかったから刺激に飢えていた。スッポンレコーズをはじめ大阪の先輩方におもしろい人が多すぎたためか、三重での生活は大人しく感じた。そんな中で今のメンバーに会えたことは大きな転機となった。寛治にとっても転機だったのだと思う。自分の性格は今より尖っていたのかもしれない。当時の最大の敵は「焦り」であったことが今ならわかる。特に KAKEHAN を作ってからは気持ちにゆとりができたかな。

自分の笑顔が下手なのを実は気にしている。「難しい人」として見られがちなのは、笑顔が少ないせいだと思っている。自分の生活を振り返ると、会話の中で相当笑っている時間は長い。ほとんどが冗談だ。本当に幸せな人生だと思う。心の底から笑っている。ただ、表情に笑顔が少ないのだ。特に人と挨拶するとき、笑顔がないのはダメだ。思えば酒飲みも草好きも友達が多い。いつもニコニコしているから友達が増えでいくのでは？人が好きだし、会話も好きなので、どうせ同じメンタルで人と接するなら、笑顔を見せる習慣をすり込もうと思っている。人からしたら当たり前すぎて馬鹿馬鹿しいかも。でも今年目標だ。集団面接で、あなたの魅力は何ですか？という問いに「私は笑顔です。」と答えた子がいて、「マジかよ、ザ・面接対策してきましたみたいな解答でドン引きだぜ」と思ったことがあったが、脳裏に焼きついているあの一瞬が自分への警告であり、導きであったのだと、大袈裟に実感している。あ那时的自分は間違っていた。笑顔に勝てる魅力はない。